

浜松バッハ研究会・豊橋バッハアンサンブル演奏会

Ludwig van Beethoven

ミサ曲 ハ長調

Johann Sebastian Bach

カンタータ <天の王よ、あなたをお迎えします> BWV 182

モテット2番 <聖霊は弱い私たちを助け起こしてくださる> BWV 226



2019年 4月7日(日)

アクトシティ浜松 中ホール

主催：浜松バッハ研究会・豊橋バッハアンサンブル
助成：公益財団法人はましん地域振興財団
後援：静岡県・公益財団法人静岡県文化財団
浜松市・公益財団法人浜松市文化振興財団
豊橋市・公益財団法人豊橋文化振興財団
浜松市合唱連盟・公益財団法人浜松交響楽団
静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社

ご挨拶

皆様、本日は浜松バッハ研究会と豊橋バッハアンサンブルの演奏会によろこおいでくださいました。

私どもは2015年4月に、創立30周年(豊橋20周年)を記念して、バッハの大作「マタイ受難曲」を演奏しましたが、その後バッハの影響を受けた古典派の作品にも取り組むことに致しました。

1750年に大バッハが亡くなったあと、彼の音楽は息子や弟子達に引き継がれ、ライプツィヒからハレ、ベルリン、ハンブルク、ロンドンなど各地に伝えられました。やがてウィーンでもバッハが継続的に演奏されるようになりました。その結果、ウィーン古典派の三大作曲家であるハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンがバッハの音楽から大きな影響を受けることになったわけです。

今回は「J.S.バッハの系譜シリーズ」第2弾としてベートーヴェンを取り上げます。この地において、第九交響曲以外の、声楽を含むベートーヴェン作品が取り上げられることは稀ですが、本日のメインプログラム「ミサ曲ハ長調」は、交響曲第5番「運命」や第6番「田園」と同時期に作曲された、大変優れた「隠れた名曲」であります。前半のバッハの秀作2曲とともに、どうぞゆっくりとご鑑賞ください。

次回からは、本来のバッハ路線に立ち返り、人類史上最高の音楽遺産と評される、バッハ畢生の名作「ミサ曲短調」に取り組む予定です、皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、本日の演奏会開催にあたり、ご協力・ご支援賜った皆様方に深く感謝申し上げます。

浜松バッハ研究会代表 河野 周平

豊橋バッハアンサンブル代表 安井 研一

演奏曲目

J.S.バッハの系譜シリーズ No.2 “ベートーヴェン”

- J. S. バッハ カンタータ182番 <天の王よ、あなたをお迎えします> (30分)
ライプツィヒ第1稿 (1724)

J. S. Bach << Himmelskönig, sei willkommen >> BWV 182
Erste Leipziger Fassung (1724)

♪ 指揮者によるショートレクチャー ♪

- J. S. バッハ モテット2番 <聖霊は弱い私たちを助け起こしてください> (9分)
J. S. Bach << Der Geist hilft unser Schwachheit auf >> BWV 226 (1729)

休憩 (15分)

Intermission

- L. v. ベートーヴェン ミサ曲 ハ長調 (55分)
L.v. Beethoven << Messe in C-Dur >> OP 86 (1807)

終演予定 17:10

出演者 プロフィール



指揮者 三澤 洋史 (みさわ ひろふみ)

国立音楽大学声楽科卒業後、指揮に転向。ベルリン芸術大学指揮科を首席で卒業。2001年より現在まで新国立劇場合唱団指揮者。1999年から2003年までの5年間、「パイロイト音楽祭」で、祝祭合唱団指導スタッフの一員として従事。2011年、文化庁在外研修員として、ミラノスカラ座において、合唱指揮者ブルーノ・カゾーニ氏のもとでスカラ座合唱団の音楽作りを研修。バッハに深く傾倒しており、マタイ受難曲、ヨハネ受難曲、ミサ曲口短調など全て暗譜でレパートリーに有する。2000年暮れから2001年初めにかけての浜松バッハ研究会ドイツ演奏旅行では、エアフルト、ハレでのミサ曲口短調成功に加え、ライブツィヒ聖トーマス教会の新年音楽礼拝を聖トーマス合唱団に代わり務めた。2006年、自らのバッハ演奏のホームグラウンドとして東京バロックスコラーズを立ち上げ、ここを根拠として「21世紀のバッハ」をめざして多角的な活動を行っている。現在、新国立劇場合唱団指揮者、東京バロックスコラーズ音楽監督、名古屋モーツァルト200合唱団、志木第九の会、浜松バッハ研究会、常任指揮者。新国立劇場合唱団の業績が評価され、2016年、JASRAC音楽文化賞受賞。



ソプラノ 飯田 みち代 (いいた みちよ)

京都大学教育学部教育心理学科卒業。飯塚音楽コンクール大賞他多くのコンクールで受賞、また、愛知県芸術文化選奨を受賞。「ルル」「アイナダマール」「メデア」などの難曲の日本初演を主演し、主演したオペラは芸術祭大賞、ミュージックペンクラブ賞等を受賞した。『歌唱力抜群で、陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す、驚くべき才能』(音楽現代より)などと、絶賛されている。2015年音楽之友社のアンケートにより、世界のディーヴァベスト100に選ばれた。また、コンサート活動も活発で日本国内のみならず、イタリア・ドイツ・オーストリア・ハンガリーにてもリトリサイタルや各種コンサートに出演している。『飯田みち代愛を歌う』『Michiyo Iida sings Richard Strauss und Alban Berg』(プライザーレコード)、『前田佳世子歌曲集』などがリリースされている。二期会会員。



メゾソプラノ 三輪 陽子 (みわ ようこ)

愛知県立芸術大学音楽部声楽専攻卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。第5回国際ワーグナー歌唱コンクール派遣対象者国内オーディション最優秀賞と特別賞を受賞。平成20年度新進芸術家海外派遣制度在外研修員としてイタリアとオーストリアに留学。新国立劇場オペラ公演、同劇場の鑑賞教室に出演。宗教曲ではヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「ハ短調ミサ」「レクイエム」、バッハ「口短調」「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」、ヴェルディ「レクイエム」、ブルックナー「ミサ曲第3番へ短調」等アルトソロとして出演。コンサートではベートーヴェン「第九交響曲」やマーラー「嘆きの歌」「復活」「大地の歌」「亡き子を偲ぶ歌」等に出演。クロアチア、ウィーン、ベルリン、チェコにて海外公演に出演。二期会会員。



テノール 寺田 宗永 (てらだ むねなが)

国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラスタジオ第42期マスタークラス優秀賞。第37回、第40回、第41回イタリア声楽コンクールソ入選。長江杯国際音楽コンクール第2位、及びテノール特別賞。さわかみオペラ財団の研修生としてボローニャにて研修、Sergio Bertocchi氏の元で研鑽を積む。岩田達宗 演出で「カプレーティとモンテッキ」ロメオ、「リゴレット」マントヴァ公爵、「ラ・ボエーム」ロドルフォに出演。日生劇場「フィガロの結婚」バジリオ(広上淳一 指揮)、「後宮からの誘拐」ベルモンテ(三澤洋史 指揮)、新国立劇場でも数々の役で出演。ヨーロッパでは「蝶々夫人」ゴロー役で、ラトビア国立リガ歌劇場、トリエステ歌劇場(Donato Renzetti 指揮)等に出演。又、モーツァルト「リタニア」(三澤洋史 指揮)、マクミラン「十字架上のキリストの最後の7つの言葉」(大友直人 指揮)等でテノールソロを務める。二期会会員。



バリトン 大森 いちえい(おおもり いちえい)

昭和音楽大学声楽科首席卒業。国立音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻(オペラ)修了。二期会オペラスタジオ第36期研究生修了。1990年大学院修了オペラ『ドン・ジョヴァンニ』レポレルロ役でオペラデビュー。現在に至るまで膨大な数のオペラ、コンサートなどの舞台に出演。新国立劇場『三文オペラ』鋸のロバート役に俳優メジャーデビューを果たす。近年では名古屋にて、ワーグナー作品のクリングゾール、アルペリッヒなどの各役に出演。三澤洋史作品をライブワークに、ミュージカル「おにこる」「ノア」「ナディーヌ」「愛果てしなく」等にも触手を伸ばす。桑原妙子、中村 健、新田ちさ、太田 実、シュテファン・アルトナー、白石卓也、三澤洋史の各氏に師事。東京バロックスコラーズヴォイストレーナー。日本丸を愛する男声合唱団3代目キャプテン。東京交響管弦楽団トウキョウコーラス ヴォイストレーナー。二期会会員。



コンサートミストレス 北川 靖子 (きたがわ きよこ)

W.シュタフォンハーゲン教授に師事。東京芸術大学卒業。1971年、オーストリア国立ウィーン音楽大学入学、ヴァイオリンをF.サモヒール教授に、室内楽をF.ホレチェック教授に師事。1975年、ウィーン音楽大学を全教授一致の最優秀で卒業。ザルツブルク・ミラベル宮殿、東京でリサイタル。1976年、ハンブルク交響楽団に入団、コンサートミストレスに就任。1981年、ハンブルク市文化局主催コンサートでリサイタル。1985年12月～91年12月、姉・北川暁子と25回の「ドウオのタペ」を開催。1987年、東京でリサイタル。1989年、北川暁子、千本博愛と「セルヴェ・トリオ」を結成、以後毎年演奏会を開催。1992年以降は北川暁子との「ソナタのタペ」を毎年開催している。現在、2001年11月に高松に設立された瀬戸フィルハーモニー交響楽団コンサートミストレス。浜松バッハ研究会・管弦楽団には1985年の創立以来、ほとんどの演奏会に参加。



オルガン 花井 淑 (はない とし)

名古屋音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専修卒業。大学在学中より名古屋・カトリック五反城教会に於いて、パイプオルガンの勉強を始め、オルガンを住山久爾子、本多七瀬、故 F.ポーンの各氏に師事。また、Z.サットマリー、故 A.シェーンシュテット、H.フォーゲルの諸氏によるオルガン・マスタークラスに参加。1982年～1986年、名古屋音楽大学嘱託研究員を経て、現在、カトリック五反城教会オルガニスト、東京福祉大学非常勤講師。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会、日本リードオルガン協会、立教大学教会音楽研究所友の会、名古屋バロック音楽協会各会員。ソリスト及び通奏低音奏者として活躍中。浜松バッハ研究会の演奏会には1996年の「マタイ受難曲」以来、ほぼ毎回参加し、2000年暮れから2001年初頭にかけてはドイツ演奏旅行にオルガニストとして同行しライブツィヒ聖トーマス教会の新年音楽礼拝で演奏した。

リコーダー独奏（カンタータ 182 番） 長瀬 正典（ながせ まさのり）

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。大学在学中に全日本リコーダーコンテスト ソロ部門第1位入賞。リコーダーを中川友彦、矢沢千宜、吉澤実の各氏に師事する他、マスタークラスなどでエリック・ボスグラーフ氏（アムステルダム音楽院教授）の指導を受ける。現在、東京藝術大学、静岡大学、常葉大学短期大学部、浜松学芸高等学校、各非常勤講師。吉澤実主宰リコーダーアンサンブル La Strada メンバー。

チェロ独奏（カンタータ 182 番） 河田 悠太（かわだ ゆうた）

19歳から独学でチェロを始める。数年後、林裕氏に1年間師事、その後京都市立芸術大学に入学し雨田一孝、上村昇の各氏に師事。2013年3月同大学を卒業し、小澤征爾音楽塾、京都リレー音楽祭などに参加。現在は、プロオーケストラへの客演や後進の指導を中心に活動しながら、室内楽やアウトリーチ演奏会の企画などに積極的に取り組んでいる。浜松市出身。

浜松バツハ研究会・管弦楽団

浜松交響楽団、カペラ・アカデミカ、ソナス・アンサンブル、掛川市民オーケストラなどから、バツハおよびバロック音楽をこよなく愛する有志が集い、バツハ研究会公演の度に組織されている。また浜松フィルハーモニー管弦楽団やアンサンブル・ムジーク浜松などからも専門家を招聘し、レベルの高いアンサンブルで好評を得ている。

Violin I	北川 靖子	疋田 清香	長谷川 悠	前澤 陽	木内麻希子	水谷奈緒子
Violin II	小沢 規子	伊藤 ちさ	東儀 温	北川 瑞季	田邑 利香	
Viola	櫻井 彩花	篠田侑香里	小林 勝	小林はる奈		
Cello	河田 悠太	神農 清志	西村美菜子	Contrabass	田邑 元一	仲田 昌史
Recorder	長瀬 正典			Flute	木村伊都子	続 真樹
Oboe	大橋 弥生	村瀬 正巳	樽林 淳	Clarinet	上野小夜子	鈴木 美奈
Faggot	曾布川利貞	高木 麻衣		Horn	末永雄一郎	浅野 加奈
Trumpet	福田 徳久	岡部比呂男		Timpani	今泉 好雅	

浜松バツハ研究会・合唱団

バツハ生誕300周年の1985年に結成され、マタイ受難曲、ヨハネ受難曲、ミサ曲口短調などの大作や、クリスマス・オラトリオ、カンタータ、モテットなどを取り上げ、管弦楽団と共に上演している。2000年にドイツ演奏旅行を行い、ライブツィヒの聖トーマス教会等で演奏した。常任指揮者として我が国バツハ演奏の権威である、新国立劇場指揮者の三澤洋史氏を招き、バツハの音楽を深く学びつつその魅力を多くの皆様にお伝えすべく、姉妹団体である豊橋バツハアンサンブルと共に活動を続けている。

	常任指揮者：	三澤 洋史	ヴォイストレーナー：	三輪 陽子		
	練習指揮者：	丹羽 哲也	丹羽多美子	河野 周平		
	ピアノ伴奏者：	宮本いずみ	栗田 竜次			
Soprano	今村 陽子	河合 良子	川瀬 綾子	杉山 知子	鶴田 当子	手嶋 亜彩子
	中村 修子	並木 佳子	丹羽多美子	服部 武子	早川 美香	平野真奈美
	増井 京子	村上 明子				
Alto	渥美 法子	金丸 則子	河野 善子	木内 淳子	鬼頭 計枝	柴田 智子
	鈴木 理恵	長谷川公子	細倉ゆずる	森田 啓子	山田 智子	
Tenor	丹羽 哲也	西尾 昌巳	平野 好道	村上 裕二	村橋 英幸	
Bass	大村 忠宏	河野 周平	栗田 孝	寺川 暢	宮 秀雄	
	山田 和典	山田 溪人				

豊橋バツハアンサンブル

バツハを歌いたい、だけど毎週浜松まで出かけるのは無理…という豊橋在住の人達が集まり、1994年8月にできた合唱団が豊橋バツハアンサンブルで、いわば浜松バツハ研究会の分身。毎週豊橋で練習し、三澤先生の練習があるときは、浜松に出かけて、浜松バツハ研究会と一緒に活動している。豊橋でも芸術劇場PLATや教会などで独自の演奏会を開いている。

	練習指揮者：	河野 周平	ピアノ伴奏者：	高木 克子		
Soprano	伊津野泰子	北原 初代	白井登枝江	三宅ゆりの		
Alto	小林 益世	富田 康江	浪崎 加代	彦坂 克美	馬淵 京子	森下 静子
Tenor	伊津野 真一					
Bass	清原 正高	駒沢 真司	近藤 宏司	富田 充	原口 直樹	安井 研一

演奏会スタッフ

ステージ・マネージャー	柴原 貞幸	畑山 譲	フロア・マネージャー	河野 真剛	河野 善子	
伊津野莉々子	伊津野美波	大津ティナ	金子 恒江	川田 咲度	黒田 浩子	鈴木瑠美子
鈴木 秀明	土川さち子	長谷川明子	長谷川正仁	宮森 芳美	山中 美恵	山中 進
ビデオ撮影：	山口 順久		録音：	福本 信夫	松田 淳一	
チラシ表紙デザイン：	ふるはしよしこ		プログラム制作：	河野 周平	丹羽 哲也	畑山 譲

バッハとベートーヴェン

三澤洋史

「バッハは小川(Bach)ではなく大海だ」と言ったのはベートーヴェンである。ベートーヴェンは、生涯に渡ってバッハを尊敬していた。そのベートーヴェンを尊敬していたブラームスは、ベートーヴェンを通してバッハ音楽の神髄に触れ、交響曲第4番の終楽章をバッハ風のシャコンヌで彩った。

ワーグナーが第九をことのほか崇拝していたことは有名である。そのワーグナーがバッハも愛していたことは意外と知られていないが、楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」の対位法には、バッハへの想いがあますことなく表現されている。

このように後世の作曲家達は、ベートーヴェンを通してバッハを知り、バッハ～ベートーヴェンという稜線から創作の方法論を学んでいた。だから、バッハをレパートリーの中心に置く浜松バッハ研究会が、バッハとベートーヴェンとを結ぶ演奏会を開くことは、一度通るべき道だと思っていた。

カンタータ第182番《天の王よ、あなたをお迎えます》 BWV 182

ワイマール時代のカンタータは、ライプツィヒ時代の偉大なカンタータ群とは異なる独自の魅力を備えている。後者を雄大なアルプスの連山にたとえたとすれば、前者は、花咲き清流の走る高原ということができるか。

受難週に先立つ、イエスのエルサレム入場の「枝の主日」。カンタータの歌詞はそれを信者の心への入城に置き換え、死を克服しての永遠の凱旋と捉え直す。

ゆったりしたト長調「ソナタ」の付点リズムの旋律が、ろばに乗って入城する「天の王」の歩みを描き出す。これに壮麗な合唱曲が続く。これは、棕櫚の葉を手にかざして迎える群衆の声を示すものである。続くバスのレチタティーヴォで、キリストは自ら、来臨を告げる。続くアリアは、主の「強い犠牲愛」を告知するもの。ホ短調のアルト・アリアは、ラルゴのテンポによる沈潜した音楽で、救い主のみもとにひれ伏す敬虔さを表現する。ロ短調のテノール・アリアは緊迫した口調で受難の情景を語る。受難コラールに基づく合唱曲があらわれ、さらに舞曲調の軽やかな合唱曲によってカンタータは閉じられる。

モテット第2番《聖霊は弱い私たちを助け起こしてください》 BWV 226

聖霊について語られているモテット。聖霊のことは、キリスト教の信者でさえよく理解していない人が少なくないが、私は、音楽とは聖霊のようなものであると思っている。形を持たず、はかなく消え去ってしまうものでありながら、私たちを内側から照らし、癒し、力づけてくれるもの。つまり聖霊こそ神の本質だと言い切ってもいいのではないか。そのことが言葉と音楽とであますことなく表現されている。バッハの信仰者としての高い覚醒が感じられる曲である。

ベートーヴェン作曲 ミサ曲ハ長調 作品86

大作「ミサ・ソレムニス」の陰に隠れて、一般にあまり知られていないが、この曲にまつわるこうしたエピソードがあるのを御存知だろうか？この曲は、エステルハージ侯より、夫人の命名記念日のお祝いの曲として依頼されたが、その初演を聴いて、エステルハージ侯は激怒している。

「こんなばかばかしく醜悪な曲など、とても受け容れられない。私は怒っている。恥をかかされた！」

あの頃の貴族の耳がかなり保守的だったことを考慮に入れたとしても、このことは逆にベートーヴェンの音楽に見られる革新性を物語っている。ベートーヴェンはいつもそうだ。彼はロマン派の扉を開いた革命家として音楽史に位置されているが、彼自身は意図して人と違ったことをしようとは思っていない。ただ作ってみたら型破りなものが出来てしまうのだ。

たとえば終曲のアニュス・デイ(神の子羊)だけとってみても、その中に熱い恋心の発露とも思えるような熱情が聴かれるし、つぶやくような「われらを憐れみ給え」は、ヴェルディ・レクイエムの *Quantus tremor est futurus*(なんとこの恐怖があるだろう)のあえぎの表現を先取りしている。これらは、後のロマン派の時代に入って、初めて市民権を得る表現方法なのである。

こうした革新性と、Cum Sancto Spiritu や Et vitam venturi saeculi などのバッハ的なフーガとが不思議な融合性を見せているのが、ベートーヴェンの大きな魅力である。バッハを聴いた直後にこの曲に触れることによって、その革新性と、その中にバッハからの潮流がどう流れ込んでいるのか、といった相反する魅力を是非お楽しみいただきたい。

曲目解説

● J. S. Bach: Kantate 182 “Himmelskönig, sei willkommen” BWV 182

丹羽 哲也

カンタータ182番は、バッハがワイマール時代の1714年3月25日の枝の主日用に作曲したものです。

枝の主日とは受難週冒頭の日曜日で、主イエスのエルサレム入城を記念する日のことです。「マタイによる福音書」21章1-9節において、エルサレムに入城する主イエスを人々はナツメヤシの枝をかざして歓迎します。このため、枝を持って「ホサナ」と呼ぶ群衆の行列が、この主日の景物をなしてきました。この主日を皮切りに、教会歴は受難週に入ります。バッハの二つの受難曲で描かれる場面は、この週の木曜日から金曜日の出来事です。

なお1714年3月25日は「マリアへのお告げの祝日」(クリスマスから逆算して9ヶ月前。キリストが処女マリアの胎内に宿ったという出来事を記念する主キリストの祝祭日)と重なっていました。そしてバッハはこのカンタータをライブツィヒで迎えた最初の「お告げの祝日」である1724年3月25日に、多少手を入れた形で上演しました(今回演奏するのはこの版です)。

全体の構成は次のようになっています。

第1曲 ソナタ:ろばに乗った主イエスのエルサレムへの到着。

第2曲 合唱:「天の王」である主イエスを私たちが心の内に迎えること。

第3曲 レチタティーヴォ(バス):主イエスの、受難に赴く際の父なる神に向けた決意のことば。

第4曲 アリア(バス):自ら栄光の座を去って身を犠牲にされた主イエスの愛の強さ。

第5曲 アリア(アルト):救い主である主イエスへの従順の勧め。

第6曲 アリア(テノール):私たちの主イエスへの応答。

第7曲 コラール(合唱):イエスの受難が私たちにとってどのような意味を持つのか。

第8曲 合唱:主イエスに付き従って天上の都に向かって歩むことの勧め。

全曲を通して、主イエスのエルサレム入場とその先にあるご受難が私たちへの強い愛によるものであることを説き明かし、彼を心の中に迎え入れ、彼に従って天上の都に向かって歩むことを勧めています。

● J. S. Bach: Motette Nr.2 “Der Geist hilft unser Schwachheit auf” BWV 226

丹羽 哲也

モテットとは、フランス語「mot(モ)＝言葉」に由来します。元来は聖書の言葉を歌詞とする中世の無伴奏多声部合唱曲のことで、バッハのころにはおおむね宗教的歌詞による八声の二重合唱で、独立した器楽パートと独唱曲を持たない声楽曲のことでした。バッハが作曲したモテットは結婚式や葬儀、追悼式、埋葬式のために書かれたと考えられるものが多いようです。

モテット2番は、1729年10月16日に77歳で亡くなったバッハの上司であるトマス学校長エルネスティの葬儀のための曲です。残されている直筆パート譜への書き込みによればその4日後の20日に大学礼拝堂で行なわれた葬儀で演奏されました。バッハの6曲のモテットの中で成立時期がはっきりしているのはこの2番だけです。

その構成は、ローマの信徒への手紙8章26-27節をテキストに持つ開始部(協奏曲風の2重合唱)、中間部(実質的には5声のフガート)、終結部(厳格な対位法楽章)と、マルティン・ルター作のコラール“Komm, Heiliger Geist, Herre Gott”(来たれ聖霊、主なる神)の第3節の4つに分かれています。

この曲は全体を通して「聖霊」について歌っていますが、開始部では聖霊のほめたたえと信頼、中間部では十字架上の主イエスの苦しみによる執り成しと救い、終結部はその救いが父なる神のみ心であるということ、神の恵みに対する人の応答であるコラールでは聖霊の導きによって私たちが天国で神のもとに集められることを祈っています。

小曲のように感じられる曲ではありますが、この一曲を通してキリスト教の教義の奥義である「三位一体」が存分に説き明かされているように感じられます。

キリスト教の葬儀においては、死んでゆくその人を神様に委ねつつ、同時にその人に与えられた神様の恵みと働き、またその人を通して豊かに与えられた様々な神様の働きに心を留めていきます。この曲の持つ明るさと温かさは、そのようなキリスト教葬儀のために作られたことによるのではと思います。

バッハがこの曲に込めた、神から与えられる希望と慰めが伝わればと願います。

● L.v. Beethoven << Messe in C-Dur >> OP 86

畑山 譲

ベートーヴェンは学校の音楽室で怖い顔で我々を見下ろしています。でも、ベートーヴェン関連の文献には怖い肖像画は載っていません。

真摯で厳格な天才音楽家。だけど、気分屋で、恋多き男で、生活力はいまひとつ。そんなベートーヴェンをマンガ家たちはコミカルに描きます(手塚治虫『ルードウィヒ・B』など)。

ベートーヴェンの音楽は、“運命”などのイメージで、力強く、激しく、情熱的、と思われがちです。でも、今回私たちが演奏する『ミサ曲ハ長調』は、「運命が扉を叩く」ような激しい音では始まりません。幻想的で清らかな歌声で、優しくふんわりと始まります。本作からは、穏やかさ、優しさ、温かさ、なども感じとれると思います。『ミサ曲ハ長調』はベートーヴェンが30代、“運命”などの代表作が次々と生まれた“傑作の森”と呼ばれる頃の作品です。初のミサ曲として意欲的に創られました。

今までにない画期的なミサ曲を志向したので、当時の他のミサ曲とは趣きが全く違います。当時は不評でした。(ハイドンとアルプレヒツベルガーのミサ曲を、YouTube で聴いてみると作風の違いがよくわかります。)でも、「これぞベートーヴェンのミサ曲だ!」という意気込みが強く感じられるほど、ベートーヴェンらしさにあふれた音楽です。

ベートーヴェンは J.S.バッハを崇拝していました。J.S.バッハの鍵盤曲集が出版されると聞くと、すぐさま全巻予約するほどの熱狂的なバッハ・ファンです。少年期のベートーヴェンの師匠ネーフェは、J.S.バッハの次男の C.P.E.バッハの弟子です。C.P.E.バッハは「今日私があるのは父のおかげ」と言い、J.S.バッハの作品を伝承しました。ネーフェも、師の父の作品をベートーヴェン少年に教えました。こうして ベートーヴェンも、J.S.バッハの偉大さを理解し、尊敬したのです。

私たちにとってベートーヴェンは、“J.S.バッハ・ファンクラブ”の偉大な先輩です。初演当時不評だった本作ですが、私たちが演奏することで、「現代のバッハ・ファンは、あなたの『ミサ曲ハ長調』をちゃんと高く評価していますよ」と、偉大な先輩に敬意を表したいと思います。

1.Kyrie キリエ Andante con moto assai vivace quasi Allegretto ma non troppo ハ長調 4分の2拍子
ハイドンやアルプレヒツベルガーのミサ曲が荘厳な雰囲気の中で始まるのに対し、本作は穏やかに神秘的に始まります。美しい旋律がゆったりと響きます。当時の聴衆は冒頭からとても驚いたと思います。

2.Gloria グローリア Allegro con brio ハ長調 4分の2拍子
神の栄光を讃える「グローリア」ですが、旋律を力強く印象付ける冒頭は交響曲第5番“運命”を彷彿とさせます。そして、「グローリフィカムス・テ(主をあがめ)」の各声部の音の動き方は、ピアノ・ソナタ第14番“月光”の第2楽章に似ています。中間部は一転して、ゆったりとしたヘ長調、第3部はハ長調のフォルテシモで、「クヴォニウム・トゥ・ソルス・サンクトゥス(主のみ聖なり)」と力強く歌い上げます。力強いフーガで最高潮に達し、最後「アーメン」のコーラスは、交響曲の最終楽章のように盛大です。この「グローリア」からは、音楽がドラマチックに展開して、めまぐるしく転調する箇所が目立ってきます。とても、ベートーヴェンらしいことですが、転調の多いミサ曲であることも、当時の聴衆を大いに驚かせたようです。

3.Credo クレド Allegro con brio ハ長調 4分の3拍子
「クレド」は、信仰告白なので一般的なミサ曲ならば力強い曲調になります。でも、ベートーヴェンは小さな音で軽快な雰囲気歌い出します。全体を大きくみれば急・緩・急・急となる4部構成ですが、次から次へといろいろな旋律が登場します。ソロとコーラスも交錯し、大変にドラマチックに展開していきます。非常に難しい音形となることもあり、歌い手にとっては技量が試されることとなります。最終的には、複雑なフーガから「アーメン」のコーラスになって終わります。

4.Sanctus サンクトゥス Adagio イ長調 4分の4拍子
実際のミサの典礼において聖体変化・聖体拝領の際に歌われるサンクトゥスは大変に神聖な部分です。なので、誰の、どのミサ曲でも必ず長調で創られます。ベートーヴェンもイ長調の静かで透明なコーラスに仕上げました。「ホザンナ(ばんざい)」の力強いフーガのあと、ヘ長調に転じて「Benedictus(ベネディクトゥス)」に移ります。ソリストたちの美しい四重唱の後は、再び「ホザンナ」のフーガが響き渡ります。

5.Agnus dei アグヌス・デイ Poco Andante ハ短調 8分の12拍子
長調で歌われてきた「サンクトゥス」から一転して、重々しい短調で始まります。「ドナ・ノービス・パーツェム(我らに平安をあたえたまえ)」で明るいハ長調に転じ、ささやくような「ミゼレーレ(憐れみたまえ)」のコーラスなど、ドラマチックに展開します。そして、冒頭の「キリエ」の主題に戻り、異例尽くしのミサ曲は、静かに穏やかに終わります。このような主題の回帰でさえも、当時のミサ曲としては異例であったようです。

1. Sonata

2. Coro

Himmelskönig, sei willkommen,
Laß auch uns dein Zion sein!
Komm herein,
Du hast uns das Herz genommen.

3. Recitativo Bass

Siehe, ich komme,
im Buch ist von mir geschrieben.
Deinen Willen, mein Gott, tu ich gerne.

4. Aria Bass

Starkes Lieben,
Das dich, großer Gottessohn,
Von dem Thron
Deiner Herrlichkeit getrieben!
Daß du dich zum Heil der Welt
Als ein Opfer fürgestellt,
Daß du dich mit Blut verschrieben.

5. Aria Alto

Leget euch dem Heiland unter,
Herzen, die ihr christlich seid!
Tragt ein unbeflecktes Kleid
Eures Glaubens ihm entgegen,
Leib und Leben und Vermögen
Sei dem König itzt geweiht.

6. Aria Tenor

Jesu, laß durch Wohl und Weh
Mich auch mit dir ziehen!
Schreit die Welt nur "Kreuzige!"
So laß mich nicht fliehen.
Herr, vor deinem Kreuzpanier,
Kron und Palmen find ich hier.

1. ソナタ グラーヴェ・アダージョ ト長調 4/4 拍子

2. 合唱 ト長調 4/4 拍子

天の王よ、あなたをお迎えします。
私たちをも、あなたのシオンとしてください。
お入りください、
あなたはもう私たちの心を占めてしまわれました。

3. レチタティーヴォ (バス)

見なさい、私は来る。
私のことは巻物にこう記されている、
あなたの御心を、私の神よ、私は喜んで行く、と。
(『詩編』40.7-8a)

4. アリア (バス) ハ長調 4/4 拍子

強く愛する---
それこそがあなたを、大いなる神の子よ、
玉座の
栄光から離れるよう、促しました。
かくてあなたは、この世の救いのために
身を犠牲として立て、
血をもっておのれを捧げられたのです。

5. アリア (アルト) ラルゴ ホ短調 4/4 拍子

救い主の御前にひれ伏しなさい、
キリストのものである心よ！
信仰の汚れない衣をまとして、
あの方に向かうのです。
体と命と財産を、
いまこそ王に捧げなさい。

6. アリア (テノール) 口短調 3/4 拍子

イエスよ、幸いの時にも災いの時にも、
あなたと一緒にて行かせてください。
世が「十字架につける！」とばかり叫んでも、
逃げずにおられるよう。
主よ、あなたの十字架の御旗から。
冠と棕櫚を、私はここに見いだすのです。

7. Choral

Jesu, deine Passion
Ist mir lauter Freude,
Deine Wunden, Kron und Hohn
Meines Herzens Weide,
Meine Seel auf Rosen geht,
Wenn ich dran gedenke.
In dem Himmel eine Stätt
Uns deswegen schenke.

8. Coro

So lasset uns gehen in Salem der Freuden,
Begleitet den König in Lieben und Leiden!
Er gehet voran
Und öffnet die Bahn.

7. コラール (合唱) ト長調 4/4 拍子

イエスよ、あなたの受難は
私には、純なる喜び。
あなたの傷と冠、嘲りは、
私の心の牧場。
私の魂は ばらの園へと向かう、
それを思いみるとき。
天のひと隅を
それゆえ私たちにお与えください。

(P.シュトックマン作詞コラールイエスの受難1663 第33節)

8. 合唱 ト長調 3/8 拍子

さあ喜びのサレムへ行こう、(『詩編』76.2)
王に従って、愛と受難に赴こう。
あの方は先に立って、
道すじを開いてくださるのだ。

(磯山 雅 著「バッハ カンタータの森を歩む1」より)

J. S. バッハ：モテット第2番 <<聖霊は私たちの弱さを助け起こしてくださる>> BWV 226 歌詞/対訳

Der Geist hilft unser Schwachheit auf,
denn wir wissen nicht, was wir beten sollen,
wie sichs gebühret;
sondern der Geist selbst vertritt uns aufs beste
mit unaussprechlichem Seufzen.
Der aber die Herzen forschet,
der weiß, was des Geistes Sinn sei;
denn er vertritt die Heiligen
nach dem, das Gott gefällt.

Choral

Du heilige Brunst, süßer Trost,
nun hilf uns, fröhlich und getrost
in deinem Dienst beständig bleiben,
die Trübsal uns nicht abtreiben.
O Herr, durch dein Kraft uns bereit
und stärk des Fleisches Blödigkeit,
daß wir hie ritterlich ringen,
durch Tod und Leben zu dir dringen.
Halleluja, halleluja.

聖霊は私たちの弱さを助け起こして下さいます、
なぜなら私たちは知らないからです、何を祈るべきかを、
どのような祈りがふさわしいのかを。
しかし聖霊ご自身が私たちの代わりに最も良い祈りをして
くださるのです、言葉に表せないうめきをもって。
人の心を見極める方は、知っておられるのです、
聖霊の思いが何であるかを。
なぜなら聖霊は聖とされた者たちの代わりに祈ってくださる
からです、神のみ心に従って。
(ローマの信徒への手紙 8章 26~27節)

コラール (マルチン・ルター1524)

あなた、聖なる輝き、甘い慰めよ、
今 私たちを助けてください、喜び安んじて
あなたの恵みの内に確かに留まり、
苦悩が私たちを追いやらないようにと。
おお主よ、み力によって私たちを備えさせ、
肉の弱さに対して強め、
私たちがこの勇気をもって戦い、
生と死を通しあなたに近付くことができるように。
ハレルヤ、ハレルヤ。

(訳：浜松バッハ研究会)

参考：『ルターと讃美歌』(徳善義和 日本キリスト教団出版局
2017年7月)

1. Kyrie

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

2. Gloria

Gloria in excelsis Deo,
et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

Laudamus te, benedicimus te, adoramus te,
glorificamus te.
Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.

Domine Deus, rex coelestis,
Deus pater omnipotens.
Domine fili unigenite Jesu Christe.
Domine Deus, agnus Dei, filius patris.

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
qui tollis peccata mundi,
suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram patris, miserere nobis.

Quoniam tu solus sanctus, tu solus dominus,
tu solus altissimus Jesu Christe.
Cum sancto spiritu in gloria Dei patris,
amen.

3. Credo (Symbolum Nicaenum)

Credo in unum Deum,
patrem omnipotentem, factorem coeli et terrae,
visibilium omnium et invisibilium.

Et in unum dominum, Jesum Christum,
filium Dei unigenitum et ex patre natum
ante omnia secula,
Deum de Deo, lumen de lumine, Deum verum
de Deo vero,
genitum non factum, consubstantialem patri,
per quem omnia facta sunt.

Qui propter nos homines et propter nostram salutem
descendit de coelis.
Et incarnatus est de spiritu sancto
ex Maria virgine, et homo factus est.
Crucifixus etiam pro nobis sub Pontio Pilato,
passus et sepultus est.

1. キリエ（憐れみの讃歌）

主よ、あわれみたまえ。
キリストよ、あわれみたまえ。
主よ、あわれみたまえ。

2. グロリア（栄光の讃歌）

天のいと高きところでは 神に栄光がありますように。
そして地上では善意の人に 平和がありますように。

私達はあなたを誉め、あなたを祝福し、あなたを拝し、
あなたをあがめ、
あなたの大なる栄光のゆえに、あなたに感謝を捧げます。

主なる神よ、天の王よ、
全能の父なる神よ。
唯一の御子である主、イエス・キリストよ、
主なる神よ、神の小羊よ、父の御子よ。

世の罪を除いて下さる方よ、私たちを憐れんでください。
世の罪を除いて下さる方よ、
私たちの願いを聞いてください。
父の右に座しておられる方よ、私たちを憐れんでください。

なぜなら、あなただけが聖なる方だからです。あなただけが
主です。イエス・キリストよ、あなただけがいと高き方です。
聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに、
アーメン。

3. クレド（ニケア信条／信仰宣言）

私は唯一の神を信じます。
全能の父を信じます。天と地と 見えるものすべてと、
見えないものを作った方を。

また、唯一の主なるイエス・キリストを(信じます)。
すなわち、神の唯一の子であり、この世のすべての
ものよりも前に父より生まれた方を(信じます)。
神から出た神であり、光から発した光であり、
本当の神から出た本当の神であって、
作られることなく、生まれ出て、父と一体であり、
その方によって万物が作られた。

そのイエスは私たち人間のゆえに、また私たちを救うために
天から降りてきて、
聖霊によって、聖母マリアから肉体を受け、
人間となりました。そして私たちのために、
ポンティオ・ピラトのもとで 十字架にかけられ、
受難し、葬られました。

Et resurrexit tertia die, secundum scripturas,
et ascendit in coelum, sedet ad dexteram patris,
et iterum venturus est cum gloria,
judicare vivos et mortuos,
cujus regni non erit finis:

Et in spiritum sanctum, dominum et vivificantem,
qui ex patre filioque procedit,
qui ex patre et filio simul adoratur et
conglorificatur, qui locutus est per prophetas,

et unam, sanctam, catholicam et apostolicam
ecclesiam,
confiteor unum baptisma in remissionem
peccatorum,
et expecto resurrectionem mortuorum,
et vitam venturi saeculi,
amen.

4. Sanctus

Sanctus, sanctus, sanctus, dominus Deus Sabaoth !
Pleni sunt coeli et terra gloria tua.

Osanna in excelsis!

(Benedictus)

Benedictus qui venit in nomine domini.

Osanna in excelsis.

5. Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
miserere nobis!

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
miserere nobis!

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
dona nobis pacem!

そして聖書に書かれているとおり 三日目によみがえり、
天に昇って、父なる神の右に座りました。

そして再び栄光とともに この世に来て、
生きている者と 死んでいる者とを裁きます。
その王国には 終りがありません。

私はまた、主なる聖霊、則ち生命を与えて下さるものを
信じます。その聖霊は父と子から出て、
父と子とともに拝され、あがめられています。
その聖霊は預言者によって語ってきました。

私はまた、唯一の、聖なる、公の、
使徒を継承する教会を信じます。
私は罪の赦しとなる
唯一の洗礼を認め、
死者の復活と、来世のいのちを
待ち望みます
アーメン。

4. サンクトゥス (聖なるかな／感謝の讃歌)

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主は！
天も地もあなたの栄光に満ちています。

いと高きところにホサナ。

(ベネディクトゥス)

ほむべきかな、主の御名によって来る人は。

いと高きところにホサナ。

5. アグヌス・デイ (神の小羊／平和の讃歌)

世の罪を取り除いて下さる神の小羊よ、
私たちを憐れんでください。

世の罪を取り除いて下さる神の小羊よ、
私たちを憐れんでください

世の罪を取り除いて下さる神の小羊よ、
私たちに平安を授けてください。

(三河尻正著 ミサ曲・ラテン語・教会音楽ハンドブックより)

合唱団メンバー募集

きょうの私たちの演奏は如何でしたか？

バッハは非常に難解だと思われるかもしれませんが、実際に歌ってみると、
とても自然で親しみやすい音楽です。あなたも一緒に歌ってみませんか？
合唱経験の有無は問いません、家族での参加、遠隔地からの参加も歓迎します。

2019~21年 練習予定曲目

J.S.バッハ 「ミサ曲 短調」
J.S.バッハ 「ヨハネ受難曲」

浜松バッハ研究会

練習日：毎週土曜日 19:00~21:30

会場：浜松市東区 積志協働センター

会費：月額 2,500円

連絡先：河野周平 ☎053-585-3364

豊橋バッハアンサンブル

練習日：毎週金曜日 20:00~22:00

会場：豊橋市 新川小学校 音楽室

会費：月額 2,500円

連絡先：安井研一 ☎0532-47-0676 (留守電設定)

<http://hamamatsu-bach.sakura.ne.jp/>

浜松バッハ研究会演奏活動年譜(主要コンサートのみ)

年月日	演奏曲目	指揮者	独唱者	会場
1985. 12. 26	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第1～3部	河野周平	山本智子 / 酒井美知江 座光寺哲 / 渡部成哉	遠州栄光教会
1986. 12. 22	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第1～3部	河野周平	坂野多巳予 / 酒井美知江 西垣俊朗 / 渡部成哉	遠州栄光教会
1988. 3. 21	バッハ「マタイ受難曲」一部割愛	河野周平	西垣俊朗 / 渡部成哉 / 石津真理子 佐藤安子 / 座光寺哲 / 平野満彦	福祉文化会館
1988. 12. 26	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第4～6部	河野周平	高田晴代 / 佐藤安子 座光寺哲 / 高井 治	遠州栄光教会
1990. 10. 7	創立5周年記念コンサート バッハ「ミサ曲口短調」	三澤洋史	蒲原史子 / 寺尾美穂 / 佐藤安子 西垣俊朗 / 牧野正人	福祉文化会館
1990. 12. 16	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第1～3部	三澤洋史	佐地多美 / 寺尾美穂 木下基樹 / 高井 治	遠州栄光教会
1992. 3. 22	バッハ「ヨハネ受難曲」	三澤洋史	木下基樹 / 鈴木 徹 / クラウス・オッカー 山田美津子 / 佐藤安子	福祉文化会館
1993. 3. 21	ヘンデル「メサイア」	三澤洋史	山田美津子 / 佐藤安子 西垣俊朗 / クラウス・オッカー	福祉文化会館
1994. 6. 12	「無伴奏合唱への誘い」 W.バード「4声のミサ」 J. S. バッハ「モテット BWV225 & 229」	三澤洋史	合唱のみ	遠州栄光教会
1995. 1. 22	「ニューイヤーコンサート」バッハ名曲選他 第1部・ヴィクトリアとシュッツのモテット 第2部・J. S. バッハのモテットBWV225 第3部・合唱によるJ. S. バッハの名曲 第4部・J. S. バッハの教会カンタータより	三澤洋史	合唱のみ	遠州栄光教会
1996. 2. 18	創立10周年記念コンサート バッハ「マタイ受難曲」全曲	三澤洋史	頃安利秀 / 渡部成哉 / 山田美津子 佐藤安子 / 小田 薫 / 長谷川顯	アクト中ホール
1997. 2. 16	バッハ「マニフィカート」 モーツァルト「レクイエム(バイヤー版)」	三澤洋史	田村麻子 / 小田 薫 西垣俊朗 / 長谷川顯	アクト中ホール
1998. 4. 5	バッハ: BWV227、BWV106、BWV131他	三澤洋史	小田 薫 / 西垣俊朗 / 長谷川顯	福祉文化会館
2000. 2. 13	バッハ「ミサ曲口短調」	三澤洋史	藤崎美苗 / 永島陽子 西垣俊朗 / 長谷川顯	アクト中ホール
2000. 12. 29 - 2001. 1. 8	ドイツ演奏旅行	三澤洋史	藤崎美苗 / 山下牧子 望月哲也 / 初鹿野剛	
12.31	ドルンハイム パルトロメ教会(バッハが結婚式を挙げた教会) アルンシュタット バッハ教会(バッハが最初に職を得た教会)		モテット6番奉納演奏 ジルベスタ・コンサート出演 モテット6番、BWV171	
1.1	アイゼナハ ゲオルグ教会(バッハが洗礼を受けた教会)		新年礼拝にてクリスマスオラトリオ4部の一部を演奏	
1.2	エアフルト シャウシュピールハウス(バッハ一族の本拠地)		「ミサ曲口短調」演奏会開催	
1.3	ナムブルグ ヴェルツェル教会(バッハが理想とするオルガンが現存)		モテット6番奉納演奏	
1.4	ハレ マルクト教会(ヘンデルが学び、バッハの息子が活躍)		「ミサ曲口短調」演奏会開催	
1.5	ライブツイヒ 聖トーマス教会(バッハが晩年の27年を過ごした聖地)		木曜日のモテットミサ演奏担当 モテット6番、BWV171	
1.6	ライブツイヒ 聖トーマス教会(バッハが晩年の27年を過ごした聖地)		金曜日のモテットミサ演奏担当 モテット6番、BWV65	
2001. 4. 22	バッハ「復活祭オラトリオ」BWV249 カンタータ BWV80、モテットBWV228 & 230	三澤洋史	藤崎美苗 / 永島陽子 西垣俊朗 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2003. 2. 23	バッハ「ヨハネ受難曲」	三澤洋史	西垣俊朗 / 小原浄二 藤崎美苗 / 永島陽子 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2005. 9. 25	創立20周年記念コンサート バッハ「マタイ受難曲」	三澤洋史	植木紀夫 / 長谷川顯 藤崎美苗 / 永島陽子 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2006. 12. 23	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第1～3部	三澤洋史	大谷知佳子 / 朴 瑛実 西垣俊朗 / 西垣俊紘	カトリック浜松教会
2007. 11. 10	「とつてもバッハな午後をあなたに」 バッハ[カンタータ140、147 ミサ曲A-Dur]	三澤洋史	飯田みち代 / 渡部菜津美 神田豊尋 / 塩入功司	福祉交流センター ホール
2010. 1. 17	創立25周年記念コンサートNo.1 ヘンデル「メサイア」	三澤洋史	國光ともこ / 三輪陽子 大槻孝志 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2010. 12. 23	創立25周年記念コンサートNo.2 クリスマスコンサート バッハ[マニフィカート Es-Dur] 他	三澤洋史	大谷知佳子 / 三輪陽子 西垣俊朗 / 河野真剛	カトリック浜松教会
2012. 10. 20	浜松のバッハ40年記念 バッハ「ミサ曲口短調」	三澤洋史	國光ともこ / 三輪陽子 畑 儀文 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2015. 4. 19	創立30周年記念コンサート バッハ「マタイ受難曲」	三澤洋史	畑 儀文 / 大森いちえい 國光ともこ / 三輪陽子 / 塩入功司	アクト中ホール
2017. 6. 18	「J.S.バッハの系譜」- I ハイドンとモーツァルト バッハ「モテット1番」 ハイドン「テ・デウム C-Dur II」 モーツァルト「レクイエム」	三澤洋史	飯田みち代 / 森 季子 大久保亮 / 能勢健司	アクト中ホール
2019. 4. 7	「J.S.バッハの系譜」- II ベートーヴェン バッハ「カンタータ182番」 バッハ「モテット2番」 ベートーヴェン「ミサ曲ハ長調」	三澤洋史	飯田みち代 / 三輪陽子 寺田宗永 / 大森いちえい	アクト中ホール

このコンサートにご協賛・ご支援いただいた方々

公益財団法人 はましん地域振興財団 様

(公財)浜松交響楽団 岡部比呂男 様

男声合唱団オーロラ 川島 順三 様

医療法人社団 明徳会 臼井 溢 様

森 昭夫 様

浜松オンコロジーセンター 様

さんくろう歯科クリニック 様

有限会社 シライ商事 様

三宅税理士事務所 様

有限会社 府中屋 様

知久 澄子 様

彦坂 信行 様

美容室 apia 様

皆さまの温かいご支援に対し 心から御礼申し上げます。



ほん国百貨店 3F

アイル



AUSTIN REED
REGENT STREET, LONDON

豊橋市駅前大通 2 - 1 0

TEL (0532) 56-2881 (直通)

建築家とつくる理想の住まい。

リフォーム・土地探しもご相談承ります。

いい家にはストーリーがある

MABUCHI

株式会社マブチ工業

〒433-8105 浜松市北区三方原町 626-3

マブチ 建築家

検索

こども園 ことり

幼稚園 保育園

TEL. 053-585-0260

幼 3~5才 保 0~5才

浜北区内野 5221-5

MULTILINGUAL CULTURE CLASS

多言語カルチャークラス

英語を通して外国の言葉・
歴史・文化・会話術を共に
学びます。

火曜クラス 諸外国の文化受信と日本文化発信

木曜クラス 英会話から他言語会話術学習[※]

金曜クラス 健康関連情報、VR 世界旅行

会 場：日本福音ルーテル浜松教会（中区城北 2-16-18）

開 催：火・木[※]・金 9時半～11時半

世話役・講師：Ted Suzuki (Univ. Queensland, Hon. Prof.)

会 費：自由カンパ

[※]詳細は日本福音ルーテル浜松教会 渡邊牧師まで

053-473-6983 nabekatu0000@yahoo.co.jp

(※ 4月より木曜日のクラスは水曜日に変わります)

はまきた少年少女合唱団



♪練習場所: 浜北文化センター
♪練習日: 毎週木曜日午後7時～9時(小学生以下は8時30分まで)
♪幼稚園年長から高校3年生まで活動

「楽譜が読めなくても大丈夫♪
歌が好きな子なら誰でも大歓迎です！」
〔はまきた少年少女合唱団〕でHP検索

新築
リフォーム
お任せください！

スヤマビルドサービス株式会社

浜松市西区西山町 1830-2 TEL: 0120-88-5600

森 内科 内 科 消化器科

森 昭夫

〒432-8061 浜松市西区入野町 9037
Tel. 053-448-5109 Fax. 053-448-5169

杉山陽一司法書士事務所

司法書士 杉山陽一

事務所・自宅 〒430-0901 浜松市曳馬五丁目2番41号
電 話 (053) 473-4741
FAX (053) 442-6005
NIFTY ID VZU02763
E-Mail s-yohichi@io.ocn.ne.jp



さわらびグループ
SAWARABI GROUP

みんなの力で、みんなの幸せを

医療法人・社会福祉法人

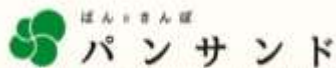
さわらび会 福祉村病院

〒441-8124 豊橋市野依町字山中19-14
Tel 0532-46-7511 Fax 0532-46-4899

電気 x sala

サーラの電気はイイことたくさん!
ガステックサービス株式会社

東三河支社 豊橋市神野新田町字テノ割1番地 (0532) 31-3125
浜松支社 浜松市東区西塚町200 (053) 463-2196



ほんごさんぽ
パンサンド

営業時間 8:00～19:00
(売り切れ次第終了)
定休日 火曜日、水曜日

435-0047
静岡県浜松市東区原島町 360
電話・FAX 053-464-8806



塗装のことなら

(有)天竜塗装

創業 55年。
外壁リフォーム
その他
塗装のことは
お任せ下さい!!



〒431-3306
静岡県浜松市天竜区船明 800-2
TEL: 053-922-2877 FAX: 053-922-2878
E-mail: tenryu-tosou@cy.tnc.ne.jp URL: http://tenryu-tosou.jp/

Illustrated by Reika



KOBAYASHI KIDS



小林きつず社

代表 小林 勉

〒431-1304 浜松市北区細江町中川 7172-1560
TEL・FAX 053-523-0590

こどもの本、おもちゃ、家具、遊具 販売

浜松こどものとも社



浜松市北区三方原町 1364-5
Tel.053-576-1632
<https://www.kodomonotomo.info/>



JAKUETS

「私たちには、御父の御前で弁護してくださる方があります。

それは、義なるイエス・キリストです。」(聖書)

弁護士 平野好道

名古屋市中区錦1-20-25
広小路YMDビル7F 草野法律事務所

電話 052-203-5305

FAX 052-203-8118

e-mail:yhirano@abelia.ocn.ne.jp

祝 浜松バッハ研究会演奏会



充実の音響
アットホームな小空間

- サロンコンサート
 - 音楽教室発表会
 - リハーサル室
 - コーラス練習会場
 - パーティー
 - 講演会
- 等にご利用下さい



コンサートサロン

Yume・Hiro Hall

浜松市中区富塚町 4710-9
Tel. 053-458-0016 (松井)
e-mail: yumehiro-matsui@indigo.plala.or.jp
URL: <http://www9.plala.or.jp/yumehiro/>

一般眼科診療・緑内障診療・コンタクト診療

内山眼科 クリニック

休診日 (木・日・祝日)

浜北区小松 694 TEL(053)584-3000

珈楽庵

珈琲茶寮・浜松珈楽庵

浜松市東区有玉北町 1229

(積志小学校向かい)

Tel 053 (543) 9070



Jazz, シャンソン, クラシック... 毎週金曜日の夜、いつもより
ちょっと特別なメニューと、ステキな音楽をお届けする
珈楽庵の夜会 詳しくは FaceBook をご覧ください
<https://www.facebook.com/pg/hamamatsukarakuan/posts/>

御会合、御待ち合わせにご利用下さい。
コングレスセンター(ドリンク・お弁当・パーティー)
ケータリングサービスしております。

ティールラウンジ

MINUET

MINUET

〒430-0928 浜松市 中区 板屋町 111-1
アクトシティ浜松・中ホール隣 TEL (053)451-0187



医療法人 社団 明徳会
介護老人保健施設

エーデルワイス

いつくしみの郷

グループホーム いつくしみの郷

ゆとりの郷

ケアハウス ゆとりの郷

メディカルテラス

介護付有料老人ホーム メディカルテラス

〒434-0041 浜松市 浜北区 平口 2405

TEL 053 (585) 1500 FAX 053 (585) 1501

ホームページ <http://www.r-del.jp> メールアドレス info@e-del.jp